

2026年2月19日

各位

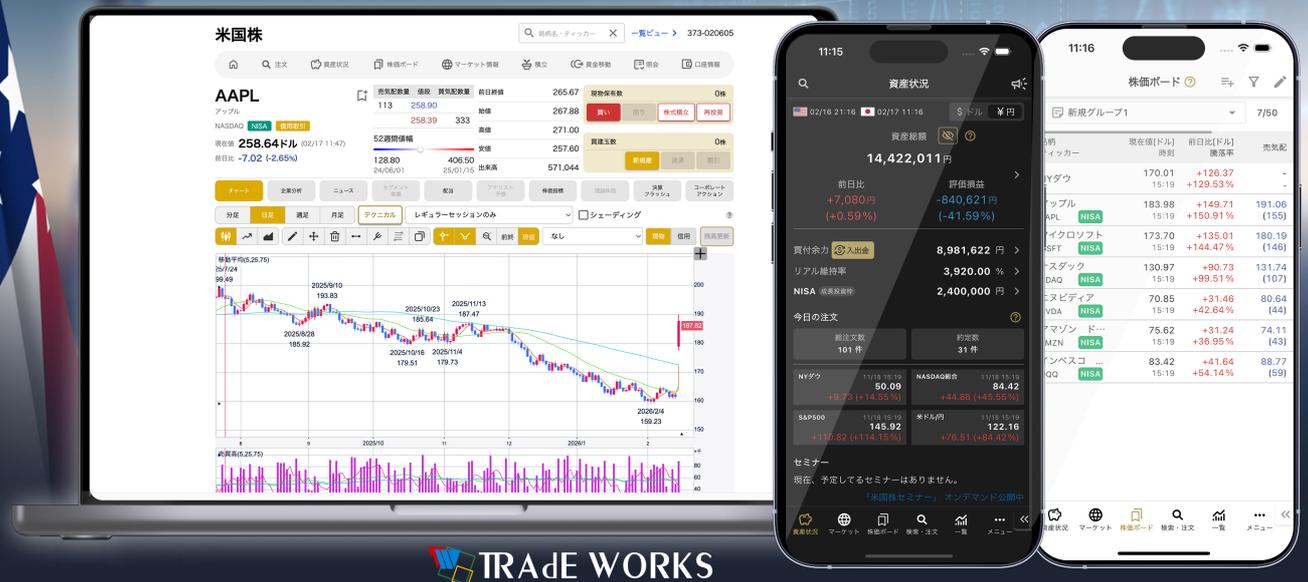
会社名 株式会社トレードワークス
代表者名 代表取締役社長 齋藤 正勝
(コード：3997 東証スタンダード)

マネックス証券向け「米国株取引サービス」新システム稼働開始のお知らせ
～SCSKとの資本業務提携後初の大型案件、次世代基盤を構築～

金融システム開発やAI・セキュリティ・ブロックチェーンなどの先端技術を活用したソリューションを提供する株式会社トレードワークス（本社：東京都港区、代表取締役社長：齋藤 正勝、以下「当社」）と、SCSK株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長：當麻 隆昭、以下「SCSK」）は、共同でマネックス証券株式会社（本社：東京都港区、取締役兼代表執行役社長：清明 裕子、以下「マネックス証券」）の米国株式取引システムを刷新し、新サービスの提供を開始いたしましたのでお知らせいたします。

本プロジェクトは、2024年6月に締結した当社とSCSKの資本業務提携後、初めて両社の強みを結集して完遂した大規模プロジェクトとなります。

マネックス証券 米国株取引サービス全面リニューアル



【本プロジェクトの戦略的意義と当社の優位性】

米国株式取引システムは、複数通貨の資金管理、海外市場とのリアルタイム接続、複雑なコーポレートアクションへの対応など、他の金融システムと比較して高度な専門性と技術的対応力が求められる分野です。

本プロジェクトでは、証券システム開発において豊富な実績を有する当社の業務知識およびフロントエンド開発力と、SCSKの基幹システム構築における高い信頼性・安定性を融合することで、以下の点において高付加価値なシステムを実現しました。

(1) 円貨・外貨を意識させないシームレスな取引環境の実現

日本円および米ドルといった異なる通貨間の資金管理をリアルタイムで連携させる仕組みを構築しました。これにより、投資家は事前の為替振替を行うことなく、日本円口座から直接米国株式の売買が可能となり、取引機会を逃さない利便性の高い取引環境を提供しています。

(2) 将来的な市場拡大を見据えた高い拡張性の確保

本システムは、成行・指値・逆指値といった基本的な注文機能に加え、連続注文、ツイン指値注文、リバース注文、トレールストップ注文など、多様な投資戦略に対応可能な自動売買機能を備えています。

また、当日限り、週末指定、日付指定、最長90日までの注文有効期限を組み合わせることで、投資家は取引時間中に常時相場を監視することなく、あらかじめ設定した戦略に基づいた効率的な取引が可能となります。

さらに、本システムは、米国取引所において検討が進められている「24時間（23時間）取引」への対応を視野に入れた拡張性の高いアーキテクチャを採用しています。取引時間や市場構造の変化に柔軟に対応可能な基盤を整備したことは、今後の米国株市場の拡大に伴う継続的な機能追加やシステム需要の獲得に寄与するものと考えています。

これにより、投資家にとっては利便性および取引機会の拡大が期待され、当社にとっては中長期的な競争力の強化および事業成長につながるものと見込んでいます。

【背景・概要】

個人投資家による米国株式投資への関心が高まる中、マネックス証券株式会社では、より高度な取引体験の提供および機能拡充が求められていました。

本プロジェクトにおける全面刷新では、当社が投資家との接点となるフロントシステム（Webおよびスマートフォンアプリ）を担当し、SCSK株式会社が基幹システムを担当する役割分担のもと、UI/UXの改善とバックエンドの安定性を両立したシステム構築を行いました。

参照：[MCXc.pdf](#)

【主なりリニューアル内容】

■米国株取引画面の全面リニューアル

日本株取引画面と似たデザインにリニューアルし、投資を始めたばかりの方でも分かりやすく、簡単にお取引できるようにしました。MY PAGEの「米国株」メニューから、米国株残高の照会や取引がシームレスに行え、「銘柄スカウター米国株」の情報も取引画面から閲覧可能となります。

■スマートフォンアプリ「マネックス証券 米国株」の大幅刷新

資産状況が米ドル/円貨換算額表示にワンタップで切り替えが可能となります。絞り込み機能なども搭載し、現物取引はもちろん株式積立もわかりやすい画面設計で、アプリ内で取引完了が可能となります。

■マネックス証券アプリの「米国株」メニューの大幅刷新

マネックス証券アプリの「米国株」メニューを整理し、日本株と似たデザインへ刷新。資産状況の確認からお取引、「銘柄スカウター米国株」までアプリ内で利用可能になります。

■資金管理や取引/残高の確認のスムーズ化

今までは証券総合取引口座から外国株取引口座に資金振替が必要でしたが、リニューアル後は証券総合取引口座に日本円を入金すれば米国株の買付ができ、売却代金の資金移動や残高反映処理も従来のシステムより早くなります。

■米国株信用取引の機能の大幅拡充

米ドル保証金と米ドル預り金の振替なしで、資金管理がより行いやすくなります。注文機能も大幅にアップデート。様々な条件付き注文に対応した上で、期間指定注文の期限を延長します（最大90日間まで指定可能）

【各社代表コメント】

・マネックス証券株式会社 執行役員 開発本部副本部長 西村 隆信様より

マネックス証券は08年から米国株取引サービスを提供してきました。業界を先取りしていたこともあり、今までの取引ツールは玄人向けの設計となっていました。米国株の取引が増加し新規顧客が流入してくる中、初心者でも利用できる分かりやすさと、使い慣れている顧客も満足できる高機能性を両立させるべく開発に取り組んでまいりました。今回大幅にリニューアルを行い新しい米国株取引サービスの礎を構築することができました。その礎を三社で作り上げられたと思っております。

今後もお客様に使いやすく、満足していただけるサービスを構築してまいります。

・株式会社トレードワークス 代表取締役社長 齋藤 正勝様より

マネックス証券様は、米国株取引サービスの黎明期より、米国トレードステーション社のシステムおよびブローカレッジサービスを採用し、国内投資家の米国株取引の裾野を広げてこられたパイオニアです。

また、多くの国内金融機関に対して取次や仲介サービスを展開するプラットフォームでもあります。

このたび、当社システム「TradeAgent」と同社のブローカレッジサービスを連携させることで機能を拡張し、投資家の皆様の利便性向上に寄与してまいります。

あわせて、当社システムのAPIをはじめとする接続基盤を最大限活用いただき、マネックスグループのプラットフォーム戦略に資するシステムサービスの展開に努めてまいります。

・SCSK株式会社 業務役員 金融システム第四事業本部長 石橋 民男様より

このたび、マネックス証券様において、SCSK・トレードワークス様共同で構築した米国株取引システムをご導入いただきましたことを、大変光栄に思います。本取り組みでは、SCSKの証券基幹システムに関する知見、安定したプロジェクト推進力と、トレードワークス様の証券フロントシステムに関する知見・技術力が融合することで、市場環境の変化に柔軟に対応可能な米国株取引システムを構築することができました。

今後もSCSKでは、パートナー企業の皆様と連携しながら、お客様の業務価値向上と持続的な成長を支援してまいります。

【今後の展望：市場環境の変化と当社の成長戦略】

米国株式市場では、取引時間の延長（24時間/23時間取引）に向けた動きが進んでおり、特にアジア時間帯における取引需要の拡大が見込まれています。

当社は本プロジェクトを通じて、こうした市場環境の変化に対応可能なシステム基盤を構築しました。今後、取引時間の拡大やそれに伴うデータ処理量の増加は、当社にとって中長期的な事業機会になると考えています。

当社は、変化する市場環境においても安定性と拡張性を兼ね備えた米国株取引システムを提供することで、金融機関および投資家の皆様を支援し、企業価値の向上に取り組んでまいります。

<本件に関するお問合せ先>

株式会社トレードワークス 徳島

Mail : ir@tworks.co.jp

TEL : 03-6230-8900